

令和4年度 鹿児島市立武岡中学校 学校関係者評価書

項目	重点目標 ※ 丸数字は、教職員の学校評価項目(別紙)	取組状況 (成果・課題)	改善点及び次年度の構想	学校関係者評価委員会での評価及び意見
自立に係ること	<p>1 キャリア教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な体験活動，行事と関連づけた指導 自己実現のための進路指導と進路情報の提供 <p>2 学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 少人数指導や個別指導の充実による知識・技能の確実な習得 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善 ICT機器等の積極的な活用(授業活用6割) 家庭と連携し，学習習慣を確立 鹿児島学習定着度調査通過率(教科70%) <p>3 健康安全指導と体力・気力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の健康状況等の把握と感染予防に必要な知識・技能の習得 基本的生活習慣の確立(家庭との連携) 積極的な体力づくり 食育を通して，体力・気力の充実を図る。残食を減らす。 危険予知能力や対応力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍で制限もあったが，感染症対策をしながら，工夫して行事や体験活動を実施した。また，外部講師も招き，各学年で職業講話を行った。(食育，消費者教育，認知症講座等) ○ 3年生は，希望する高校へ進学できるように指導や進路提供を随時行った。 ● キャリアパスポートの活用を図り，上級学校へしっかりとつなげたい。 ● 全教科でタブレット端末(ロイロノート)を活用し，授業の効率化が進んだが活用は5割弱 ○ 県のWEB問題やドリルアプリを毎時間の復習や定期テスト問題に使った。 ○ 生徒会保健部を中心に，残食調査を行い，残食量は昨年度より減った。 ● 感染症対策については，継続している。生徒自身が感染症予防について考えしっかり判断できるように継続して指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も今後の動向を見ながら感染症対策を継続しつつ，学校行事や体験活動を実施する。 生徒も教師も更にICT機器を積極的に活用し「分かる授業」を実践を継続する。 主体的に学習に取り組みさせるために言語活動を充実させる。 各種調査や標準学力検査等の結果から，教科の基礎・基本の定着が不十分なところや苦手なところを集中して取り組みさせる。また，タブレット端末の活用を推進する。 感染症予防については継続 健康診断の結果を基に，家庭と連携して，生徒の健康増進や体力向上を図る。 	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生方の話を伺い，活動，努力を高く評価します。 学習定着度調査の結果が，教師の頑張りを表していると思います。 吹奏楽部の活躍が素晴らしい。地域の誇りです。しかし，もう少し他の部活動の活躍を期待しております。 学習指導は，先生方が復習や定期テストを行いながら学習力アップに力を注がれていることに頭が下がります。学習の個人差を小さくするには何かしらの方法がきっかけが本人の意欲につながることを願うばかりです。 金銭感覚を家庭でも考えてほしい。学校，保護者同士の連携(おこづかい) 教科・学年によって教職員のICT機器の利用度と効果の差は仕方ないと思うが，もっと充実していければ。 <p>3.2</p>
友愛に係ること	<p>1 心豊かな生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業や学校行事等の教育活動全体を通して道徳的实践力を培い，自他の大切さを認めることができる生徒の育成 何事にもあきらめず挑戦し，自己肯定感を高めさせる。 <p>2 心の通い合う集団づくりと個に応じた生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒との信頼関係を構築し，笑顔や温かい言葉があふれる集団づくり(学校行事，生徒会，部活動等) 対話を通して意見の相違を乗り越え，よりよい人間関係の構築 スクールカウンセラーや各関係機関等と連携を図り，不登校・いじめに対応する。 問題行動の未然防止・早期対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担任だけではなく，副担任も道徳の授業を行った。 ○ 朝読書に加えて，給食時の読書担当や学校図書館司書による読み聞かせを行った。 ○ 体育大会や文化祭は生徒・教師一丸となって取り組むことことで，絆づくりや居場所づくりができた。 ● SNSを介した嫌がらせが数件あった。 ● 情報モラルについては，随時指導をしてきたが，なかなか浸透していない。 ○ いじめについては積極的に認知し，指導をしている。 ○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し改善の見られる生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も，全職員で道徳の授業に取り組む。 不登校生徒の減少について，目標を持ちながら継続して粘り強く取り組む。 社会情勢に合わせて，校則やきまりをどのように変えていくか生徒会と共に検討を行う。 ソーシャルスキルや判断力を身につけさせながら，規範意識の醸成を図る。 情報端末機器の安全な使用についての指導は継続し，保護者への啓発を推進する。 関係機関との連携を更に進める。 	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活は，社会人として乗り越えられるよう体力づくり，基本的知識(学力)を習得させると同時に仲間づくり，コミュニケーションのとれる人間形成に努めてほしい。 全体的にみて，登下校の通学もしっかりしており，特に問題を感じない。良好である。 SNSの指導は大変でしょうが，これから生きる生徒たちにはSNSなしの生活はできないので，スタートの今，基本的な指導を徹底してもらいたい。 不登校，大変でしょうがよろしく願いいたします。(やさしく) 不登校傾向，不登校の生徒に対しての原因が評議員会だけでは分かりづらい。いじめ，友達関係，家庭内，ゲーム依存なのか？そして，本人や家庭へのアポイントメントして困り感などをサポートしているのか伝わりづらいです。 不登校の生徒が部活動に自分の居場所があるということを知って少し安心しました。 中学校全体が落ち着いていると思う。子供たちも各方面で活躍していることはとても素晴らしいと思う。 不登校生徒の情報が知らされていないので現状がよく分からない。 <p>3</p>

<p>創造に係るごと</p>	<p>1 家庭や地域の信頼に応える学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観や学校・学年・学級だより，ホームページ等で，情報を発信し，開かれた学校づくりに努める。 ・ 校区内の危険箇所の把握と災害発生時の連絡整備 ・ どこでも，誰にでも，丁寧なあいさつができる生徒を育成（一学校一改革：「文武両道」とあいさつ活動の充実） ・ 地域の人材等を積極的な活用 ・ 学校内外の活動を通して，郷土武岡を愛する心情を育てる。 <p>2 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を通じた研修による指導力の更なる向上 ・ 校内研修等により教育公務員としての倫理観の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページやブログを使い，生徒の様子や，学校活動について紹介できた。 ○ 危険箇所について随時指導した。 ○ 学校の環境整備では点検後の修理等随時実施した。 ● 校内ではあいさつについては，ワンストップあいさつ，3Dあいさつができるようになっているがまだ不十分である。。 ○ コロナ禍であったが，地域ボランティアの活用や地域人材の活用できた。（触れあい活動，お琴指導，健康教育等） ○ ラジオ体操と立志の集いに参加できた。 ○ 年間9回研究授業を行い，指導法の改善に取り組んだ。 ○ 研修会はオンライン開催を含め，積極的に資質向上を図った。小中連携研修会も実施した。（外部講師による指導は6回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価を基に，来年度の取組を進める。 ・ 生徒会を中心にあいさつ運動を更に進めて地域でもしっかりあいさつできるように継続して取り組んでいく。 ・ 地域行事への積極的な参加を促す。 ・ 地域人材や学校支援ボランティアの活用は来年度も継続して実施する。（地域の方との触れあい活動や琴の指導等） ・ 生徒の姿を基にした研究授業を通じた研修を進め，授業改善を行う。 	<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校の生徒が多いのが気になります。 ・ 朝食の摂れていない生徒数は？ ・ 学校は「何が何でも登校したい場所」であってほしい ・ ホームページも他校と比べてよく更新されており学校の様子がよく分かり，地域民として安心できた。 ・ 立志の集いの進行を1年生が手伝ってくれ，新しい試みに学校側の協力に感謝したい。 ・ 県合唱コンクールは先生方の御指導や生徒の努力や集中の賜物で金賞はうれしい知らせでした。 ・ 初応募で三席受賞武岡中生徒会新聞「踏み出す力」もうれしいお知らせでした。日々の努力を感じました。 ・ 登下校の様子も挨拶もかえしてくれたり，道路もひろがることもないと思う。
----------------	---	---	---	-----------	---